

平成14年 8月26日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

帝釈峡遺跡群発掘調査40周年記念シンポジウム
帝釈峡遺跡群の過去・現在・未来
— 縄文文化を地域から見直そう 西の帝釈峡遺跡群、東の三内丸山遺跡 —
の開催について

このことについて、下記のとおり開催されますので、お知らせいたします。

記

日時 平成14年9月8日(日)10時～15時
午前中に基調講演、午後にパネルディスカッション
場所 東城町老人福祉センター(比婆郡東城町)

【お問い合わせ先】
広島大学文学部総務係長
中原和重
TEL:(0824)24-6605
(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 3枚(本票含む)]

○[シンポジウムの趣旨・要領](#) ○[ポスター](#)

帝釈峡遺跡群発掘調査40周年記念シンポジウム

帝釈峡遺跡群の過去・現在・未来

—縄文文化を地域から見直そう 西の帝釈峡遺跡群、東の三内丸山遺跡—

・趣旨

帝釈峡域で発掘調査が始まって40年を迎えるにあたり、広島大学考古学研究室が何を目的として発掘を開始し、現在どういう状況にあり、これから何を目標としていくのか、帝釈峡遺跡群発掘調査の過去・現在・未来をテーマにシンポジウムを開催する。

青森県三内丸山遺跡の発掘以来、縄文文化は想像以上に豊かな社会を形成していたことが分ってきた。西の帝釈峡遺跡群からも縄文文化のすばらしさを発信していくことができれば、地元町村の活性化に少しでも役立つことが期待できる。

そのために、地元行政ならびに地元住民の参加を要請し、大学(遺跡発掘に限らずその他の分野も含めて)が地域社会とどのように関わりあって、地域社会にどのように貢献していくべきか等を語り合う。

・開催要領

主催 広島大学文学研究科考古学研究室

共催 神石町・東城町・豊松村・油木町

日程 平成14年9月8日(日)10時～15時

午前中に基調講演、午後にパネルディスカッション

会場 東城町老人福祉センター

基調講演

岡田康博(青森県教育委員会 現文化庁記念課)

「三内丸山遺跡と豊かな縄文文化」

潮見浩(広島大学名誉教授)

「帝釈峡発掘40年」

中越利夫(広島大学文学研究科助手)

「帝釈峡遺跡群からみた縄文時代」

パネルディスカッション

神石町長 宮野元壮

東城町文化財保護委員 難波宗朋

広島大学文学研究科長 頼祺一

中国新聞社記者 岩崎誠

文化庁 岡田康博

広島大学名誉教授 潮見浩

広島大学文学研究科助手 中越利夫

司会 広島大学文学研究科教授 古瀬清秀

帝釈峡遺跡群発掘調査40周年記念シンポジウム

帝釈峡遺跡群の過去・現在・未来

縄文文化を地域から見直そう、西の帝釈峡遺跡群、東の三内丸山遺跡

とき

平成14年9月8日(日)

(午前10時～午後3時)

ところ

広島県比婆郡東城町

東城町老人福祉センター

参加費 無料

基調講演

三内丸山遺跡と豊かな縄文文化
文化庁 岡田康博

帝釈峡発掘40年

広島大学名誉教授 潮見 浩

帝釈峡遺跡群からみた縄文時代

広島大学 中越利夫

パネラー

関係4町村代表

頼 祺一 (広島大学文学研究科長)

岩崎 誠 (中国新聞社)

岡田康博 (文化庁)

潮見 浩 (広島大学名誉教授)

中越利夫 (広島大学)

司会

古瀬清秀 (広島大学)



主催 広島大学大学院文学研究科
考古学研究室

共催 神石町・神石町教育委員会
東城町・東城町教育委員会
豊松村・豊松村教育委員会
油木町・油木町教育委員会

問い合わせ先

広島大学考古学研究室 TEL 0824-24-6663
神石町教育委員会 TEL 08478-7-0181
東城町教育委員会 TEL 08477-2-5271
豊松村教育委員会 TEL 08478-4-2188
油木町教育委員会 TEL 08478-2-0314

帝釈観音堂洞窟遺跡